

# 園芸品種の増殖と管理の問題点

公益財団法人 日本花の会  
結城農場長 田中 秀明

# I . 園芸品種の増殖方法

## 1 . 種子繁殖（実生苗）

- ・ 種子から苗木を増殖する。
- ・ 実生苗は全て遺伝的に別々の個体。



妹背 任也



妹背の実生苗

## 2. 栄養繁殖

- 個体の一部を分離して独立した苗木を増殖する。
- 栄養繁殖苗は全て同じ形質を持つ。
- 全国に植えられている染井吉野も 1 本の個体から増殖されたもの。



函館市五稜郭の染井吉野



山口県岩国市・錦帯橋の染井吉野

# 種子繁殖と栄養繁殖の比較

染井吉野⇒種子繁殖



独立した形質を持つ個体

染井吉野⇒栄養繁殖



染井吉野

### 3. 接木苗の育成方法

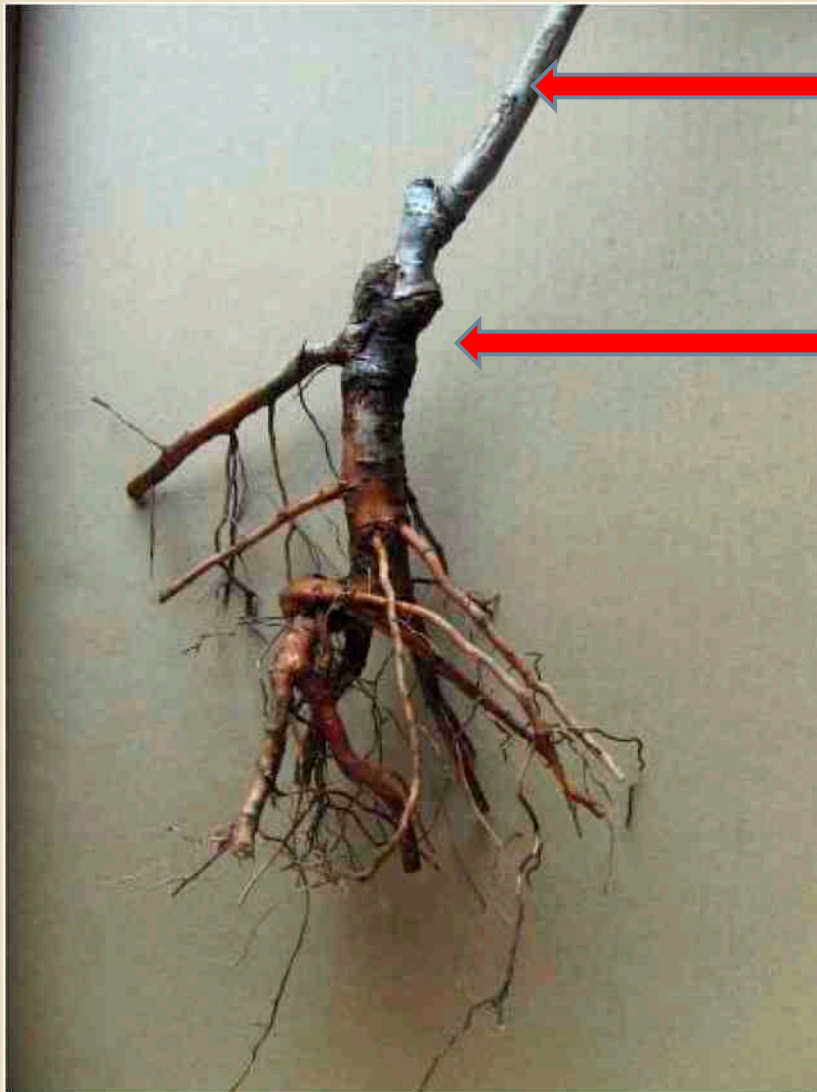
- 増殖したい桜の枝や芽を異なる桜に合体させ、独立した個体を育成する。
- 地下部となる桜を台木と呼ぶ。



増殖する品種

台木





増殖した品種

台木の桜

台木の種類と品種の組合せ

・エドヒガン

エドヒガンの品種

エドヒガンと他種の雑種(十月桜)

・オオシマザクラ

エドヒガンの関係しない品種

エドヒガンと他種の雑種(染井吉野)

切接苗



## ・台木の育成過程

6月 採種、調整、貯蔵 → 翌年3月 播種 → 5月 定植  
翌年3月に接木



### ・接木（切接）の手順

台木を地表から2cmほどで切除→ 台木に切込を入れる

→ 増殖品種の枝を削る→ 台木に差し込む →テープで結ぶ。





4月中旬



5月中旬



7月中旬



12月中旬(仮植)

## Ⅱ. 管理の問題点

- ・ 園芸品種名は特定の個体を他と区別するためにつけた名前だが、内容が異なるのでその取扱いが大きな問題点・課題
- ・ 集団名：異なる個体を含む名前
- ・ 品種名：特定の形質を持つ個体の名前
- ・ 個体名：特定の由来に因む個体の名前



集団名：紅枝垂



品種名：染井吉野



個体名：山高神代ザクラ

# 1. 集団名（紅枝垂）

- ・ 紅枝垂は同じ名前でも遺伝的に異なる個体がある。
- ・ 写真左：花色が紅色で花弁が細いタイプ。
- ・ 写真右：花色がやや薄く花弁が丸いタイプでやや早咲。



## 2. 集団名（八重紅枝垂）

- ・ 八重紅枝垂は同じ名前でも異なる花が咲く個体がある。
- ・ 集団名の品種は同じ名前でも開花期や花色などが違うので利用上、問題となることがある。



八重紅枝垂：花色が淡紅色と紅色のタイプ。同じ場所でも紅色は開花がやや遅い

### 3. 品種名（染井吉野）

- ・ 特定の形質を持つ個体につけられた名前を品種名とした。
- ・ 全国で栽培されている染井吉野は全て同じ形質で花色などが異なる個体はない。



## 4. 品種名（熊谷と熊谷桜）

- ・ 怡顔齋桜品（1758年）に熊谷桜（熊谷）として掲載。
- ・ 異なる2種類が現存しているので、品種名を熊谷桜と熊谷として区別している。



熊谷桜 クマガイザクラ



熊谷 クマガイ

## 5. 品種名（糸括と手毬）

- ・ 形態が類似しているが、開花期など生態的特性で区別した可能性はある。
- ・ 原木が残されていない古い品種は資料も少ないため、真贋が決められない品種もある。



糸括 イククリ



手毬 テマリ



## 6. 個体名（山高神代ザクラ・レーガン桜）

・その個体に因む由来から名づけられた名前。他と区別する特定の形質がないので記録が失われた場合、同定は困難。



山高神代ザクラ  
樹齢2千年といわれるエドヒガンの古木



レーガン桜は導入の由来に因んで  
名づけられた染井吉野



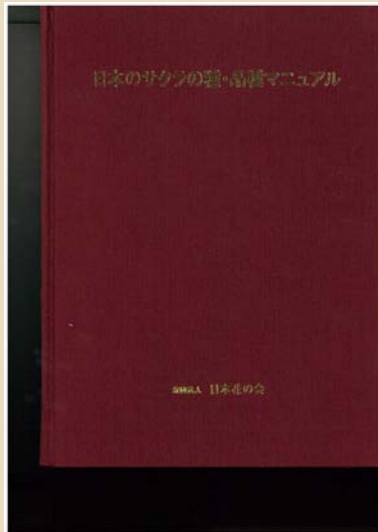
## 7. 新しい品種名の誕生

- ・ 品種名は他と区別するためにつける名前とすれば、なんらかの価値があれば、実生苗は新品種として、また、個体名も自由につけることができる。
- ・ 個体名や類似品種が多い品種でも、同じ名前で異なる花が咲くことはないので利用上、大きな問題は生じないが？



当会・桜見本園にある実生苗 新品種として発表することも出来る

・新しい知見や品種が増加する中、共通認識が保てるよう、品種名の整理や統一、品種名の表記方法などについて基準づくりを検討して行く必要がある。



・当会で1982年に刊行した日本のサクラの種・品種マニュアルと当会の桜見本園

## 参考文献

- ・さくら百科 丸善(株)
- ・新日本の桜 山と溪谷社
- ・NHK趣味の園芸 よくわかる栽培12ヶ月 サクラ「改訂版」 NHK出版
- ・日本のサクラの種・品種マニュアル 公益財団法人 日本花の会